

受付番号		受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定	
------	--	-----	----------	-----	----------	----	--


一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会認定（試行事業）
試行事業病院総合医養成プログラム 年次報告書

2014年7月25日

一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会

理 事 長 殿

以下に記載した内容で、貴学会の試行事業における病院総合医養成プログラムとして認定を更新していただけますよう申請いたします。

プログラム責任者署名（自署） 

1. プログラム名称			
王子生協病院 病院総合医プログラム「ほくと」			
2. プログラム責任者			
プログラム責任者氏名	高橋 慶	学会会員番号	
所属・役職	東京ほくと医療生活協同組合 赤羽東診療所 所長		
所在地・連絡先	住所 〒114-0003 東京都北区豊島3-4-15 電話 03-3912-7210 FAX 03-3912-6170 E-mail keiiekt@gmail.com		
連絡担当者氏名*・役職	加納 高則 (医師研修担当)	*プログラム責任者と別に連絡担当者がある場合のみ記載	
連絡先	電話 03-3912-7210 FAX03-3912-6170 E-mail takanori_kanoh@tokyohokuto.or.jp		
3. 最近1年間のプログラムの概要			
・研修者の感想や、アピールポイントをお書きください			
<p>王子生協病院は東京都の北区に位置し、桜で有名な飛鳥山や荒川や石神井川など4つの河川に囲まれた町にあります。終戦後の1948年に地域の方々が集まって創設した診療所が現在の病院のもとになっているため、現在も地域の方々と病院とのつながりは強く、地域の方々が主体となって行う学習会や健康相談会などの活動が盛んです。家庭医の育成は10年以上前から行われており、現在（2014年7月現在）も初期・後期研修と合わせて6名が家庭医療の研修中です。</p> <p>病院は内科疾患を中心とした混合病床で、二次救急を受け入れており、幅広い急性期疾患や救急疾患を研修できます。下記に当院での研修の特徴を示します。</p> <p><地域のニーズに応える></p> <ul style="list-style-type: none"> ・外来－入院－往診という一連の流れを経験できる ・大病院と地域との橋渡し役としてのコーディネート能力を向上できる <p><幅広い研修内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・診療所での継続的な外来（小児を含む）・往診が可能で医療の継続性を学ぶことができる ・往診を通年で行い、在宅緩和ケアを含めた在宅診療の技術の向上ができる ・外来・入院・往診のすべての場面において老年医学および緩和ケアを学ぶことができる ・ICU（他院）の3ヶ月のブロックローテーションがあり高度集中医療を学ぶことができる ・褥瘡委員会・NST委員会・倫理委員会・ICLS委員会などへの積極的参加で組織運営やリーダーシップを学ぶ事ができる。 <p><確立した研修評価></p> <ul style="list-style-type: none"> ・月一回の振り返り、360度評価などの形成的評価により省察的実践を促す ・ポートフォリオによる総括評価により困難な事例に対応できたことを示すことができる <p><家庭医が活躍する教育環境></p>			

受付番号		受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定	
------	--	-----	----------	-----	----------	----	--

- ・指導医が家庭医療専門医であるため、家庭医としての教育を受けられる
 - ・常勤医のほとんどが家庭医であるため、病院全体で家庭医療を提供している
 - ・メンタリング制度による研修のサポートがある
- <家庭医を目指す初期・後期研修の指導>
- ・FDを受け家庭医療の研修医の指導に関わることで教育者としての能力を向上できる
- <研究>
- ・プライマリケアの研究の支援を行っており、初学者でも研究が可能である

*標準的な研修内容

王子生協病院総合内科病床：9ヶ月、みさと健和病院 ICU：3ヶ月

1年を通じて王子生協病院もしくは当法人内診療所の外来および往診を週1回ずつ継続して行う
また週数回の救急外来当番と月4回程度の当直を1年間継続する。

4. 過去2年間の実績

2012 年度	新規研修開始者数	0名
	研修修了者数	0名
2013 年度	新規研修開始者数	0名
	研修修了者数	0名

5. 現在のプログラム研修者該当者数（研修休止中の者を含む）

1年目	0名	2年目	0名	3年目	名	4年目	名
-----	----	-----	----	-----	---	-----	---

6. プログラムにおける指導医

主たる施設における指導医以外の、関連病院の指導医は氏名の下に施設名を記載

氏名	卒業年	専門分野・資格	専門分野・資格
高橋 慶 赤羽東診療所	H13年	家庭医療専門医・指導医	
平山 陽子	H13年	家庭医療専門医・指導医	
泉水 信一郎	H18年	家庭医療専門医・指導医	
田 直子	H17年	家庭医療専門医・指導医	

受付番号		受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定	
------	--	-----	----------	-----	----------	----	--

今泉 貴雄 豊川通り診療所	S63年	日本神経学会専門医	
田邊 康一 鹿浜診療所	S58年	日本医師会認定産業医	
松永 伸一 みさと健和病院	H2年	呼吸器内科専門医	
藤沼 康樹 医療福祉生協連家庭医療学開発センター	S58年	プライマリ・ケア認定医	
菅野 哲也 荒川生協診療所	H11年	家庭医療専門医・指導医	

7. 施設・診療科診療実績概要

病床数 177床（内総合診療部門定床 92床）
総合診療部門外来患者実績 初診 約 1,137人/月 再診 約 6,549人/月
総合診療部門入院患者実績 平均 約 2,404人/月

受付番号		受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定	
------	--	-----	----------	-----	----------	----	--

8. 診療実績 研修者 1 人平均経験症例		
急性期一般病床入院	約	症例
集中治療室 (ICU)・HCU 入院症例	約	症例
外来継続診療症例	約	症例
看取り症例	約	症例
委員会活動実践事例	約	症例
教育実践事例	約	症例
研究実践事例	約	症例

9. 診療実績 研修者一人平均経験症例 領域別		
症例数不明の場合は、おおよその割合を記載してください		
研修領域	症例数もしくは割合	主な疾患名
心疾患系	約 症例	
	約 %	
呼吸器系	約 症例	
	約 %	
消化器系	約 症例	
	約 %	
代謝内分泌・血管系	約 症例	
	約 %	
神経系	約 症例	
	約 %	
腎泌尿器科系	約 症例	
	約 %	
リウマチ性・筋骨格系	約 症例	
	約 %	
皮膚	約 症例	
	約 %	
耳鼻咽喉科	約 症例	
	約 %	
その他	約 症例	
	約 %	

受付番号		受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定	
------	--	-----	----------	-----	----------	----	--

10. 研修者の評価方法（研修修了認定の方法も含めて、具体的に）

- ・月一回の振り返り、360度評価などの形成的評価により省察的实践を促す
- ・ポートフォリオによる総括評価により困難な事例に対応できたことを示すことができる

11. プログラムの質の向上・維持の方法

- ・月1回の運営会議にてプログラムの改善を検討する
- ・指導医が家庭医療専門医であるため、家庭医としての教育を受けられる
- ・常勤医のほとんどが家庭医であるため、病院全体で家庭医療を提供している
- ・メンタリング制度による研修のサポートがある
- ・FDを受け家庭医療の研修医の指導に関わることで教育者としての能力を向上できる
- ・プライマリケアの研究の支援を行っており、初学者でも研究が可能である

その他、お気づきの点やご意見等ありましたら下記にお書きください